MINOX
GERMANY



ミノックス・デジタルクラシックカメラ

DCC 5.1

取扱説明書

目次

安全で快適にお使いいただくために

⚠ **ご注意**

本製品を安全で快適にご使用いただくために、ご使用の前に以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。また、これらの注意事項はカメラ使用者やその周辺の方々に危害や損害が起きるのを未然に防ぐためのものでもあります。以下の事項が守られずにカメラに故障が生じた場合、保証は適用されません。

※本製品は精密機器です。雨や雪、その他の液体や、砂などの異物が内部に入らないよう注意し、落下や重いものを乗せるなど、乱暴に扱わないでください。特に液晶部を強く押したり、傷付けないようにご注意ください。

※使用済み電池は、＋－接点をテープなどで絶縁し、各自治体指定の方法で廃棄してください。

※電池交換の際は、＋－接点を正しく入れてください。電池の破裂・液漏れなどにより危険です。

※電池を火に近付ける、ショート、分解、加熱、本書に記載以外の電池の使用や充電はおやめください。爆発して大怪我の危険があります。

※カメラを長時間使用しない場合は、電池を取り外し、カメラと電池はそれぞれ湿気のない場所で保管することをお勧めします。

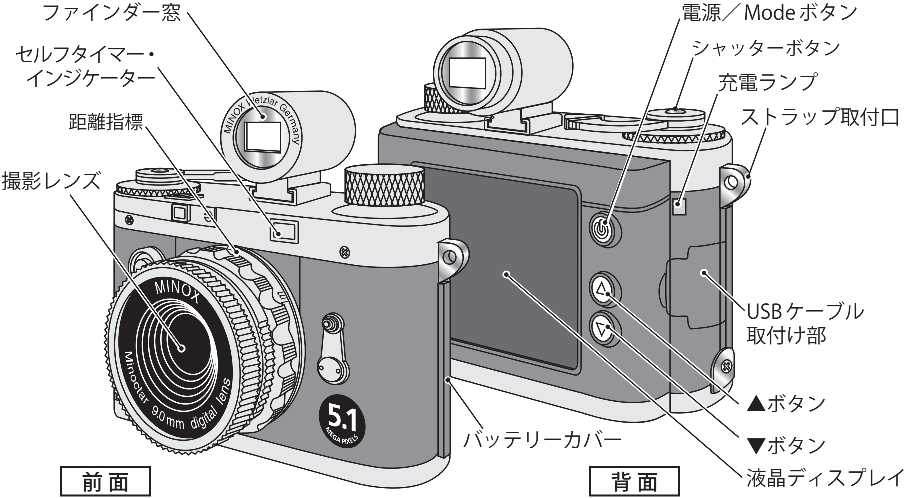
※水没や水濡れなどで、カメラ（電池）内部に水が入った場合や、熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常が起きた場合、そのままの状態で使用すると火災、火傷、感電の原因になります。火傷しないように注意して電池を取り出し、速やかに弊社サービス部までご連絡ください。

※監視の目が届かない状況でカメラを放置したり、コンピュータに接続したままにしないでください。
※カメラ本体や電池は、小さなお子様の手の届かない場所で保管・使用してください。電池を飲み込んで胃腸を損傷したり、ストラップを首に巻き付け、窒息する危険があります。
※ストラップ装着時は、他に引っ掛けないようにご注意ください。怪我や破損等の原因となります。
※カメラを絶対に分解しないでください。カメラ内部には高電圧回路があり、感電の危険性があります。
※予告無しに人に向けてフラッシュを使用しないでください。事故や目を傷める危険性があります。
※歩行中や自動車等の運転中は絶対にカメラを操作しないでください。交通事故の原因となります。

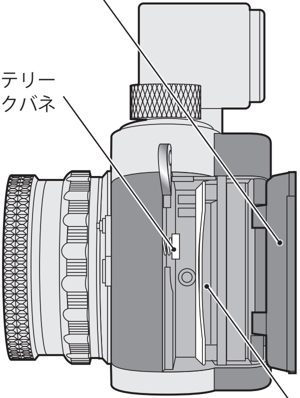
カメラの保管・メンテナンスに関して

※カメラの保管は、直射日光の当たる場所、極端に高温や低温の場所、強い磁気を発生する場所、化学薬品やビニール/ゴム製品に接触する場所を避けて、水気や湿気、埃のない場所で保管してください。
※カメラ本体の清掃は、バッテリーを抜き、コンピュータとの接続を切ってから柔らかい布で拭いてください。クリーニング剤は絶対に使用しないでください。
※レンズや液晶は軽く埃を飛ばしてから、少量のレンズクリーナーなどを使って柔らかい布で拭いてください。
※硬い物や尖った物が、レンズや液晶と接触しないようにご注意ください。

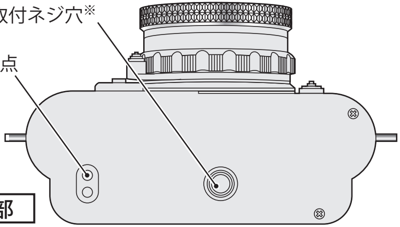
各部の名称



ファインダー窓
セルフタイマー・
インジケーター
距離指標
撮影レンズ
電源／Mode ボタン
シャッターボタン
充電ランプ
ストラップ取付口
USB ケーブル
取付け部
▲ボタン
▼ボタン
液晶ディスプレイ
バッテリーカバー
MINOX Wetzlar Germany
MINOX
Minoctar 9.0 mm digital lens
5.1
MEGA PIXELS
前 面
背 面



側 面



底 部

ご注意

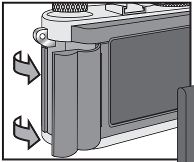
※DCC 5.1底部にあるネジ穴は、専用ストロボ用の取付けネジ穴です。三脚には使用できませんので、ご注意ください。
※実像式ファインダーは、ここから覗いた画角と実際の撮影画像とではパララックス（視差）が生じます。フレーミングは基本的に液晶画面で行うことをお勧めします。

バッテリーについて

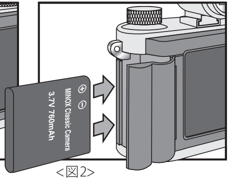
このカメラはリチウムイオンの充電可能なバッテリーを使用しています。
バッテリーは初期充電が完了するまでは使用できません。初めて使用される場合は、P9の**「バッテリーを充電する」**に記載された方法で充電してください。

※指定以外の方法で充電された結果、カメラまたはバッテリーに損傷が発生した場合は保証対象になりません。

バッテリーの入れ方



<図1>

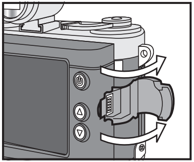


<図2>

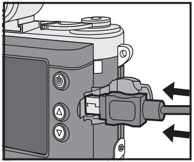
カメラのバッテリーカバーを開きます。(図1)
バッテリーロックバネ(P7参照)を、バッテリーで押さえつけながら挿入します。(図2)
バッテリーロックバネがハネ上がることでバッテリーがロックされたことを確認し、カバーを閉じてください。

※バッテリー着脱時に画像が影響を受けることはありません。

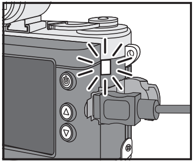
バッテリーを充電する



<図3>



<図4>



<図5>



<図6>

USB ケーブル取付け部を開きます。<図3>
カメラの電源を切り、USBケーブル（付属）の小さな方のコネクタをカメラに差込みます。<図4>

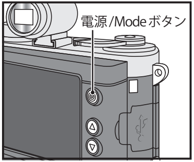
コンピュータ経由で充電する：USBケーブルの大きな方のコネクタをコンピュータのUSBポートと接続して充電します。
ACから直接充電する：USBケーブルの大きな方のコネクタをACアダプタ（付属）に装着してコンセントに差し込み、充電します。

※充電中にカメラの操作はできません。

充電ランプ：充電中は充電ランプ（グリーン）が点灯します。<図5>
このランプが消えれば充電は完了です。

※画面に アイコンが表示されたらバッテリー残容量が少なくなっています。速やかに充電してください。<図6>
※USBケーブルを取付ける際は、しっかり差込んでください。取付けが不十分な場合は、接点が触れることで充電ランプが点灯しますが、充電はされません。

カメラのスイッチを入れる



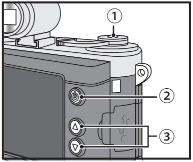
<図7>



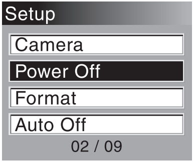
<図8>

電源/Modeボタン ⏻ <図7>をしっかりと押すと電源が入り、カメラのディスプレイの左上に撮影モードアイコン が表示されます。<図8>

カメラのスイッチ切る



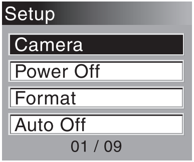
<図9>



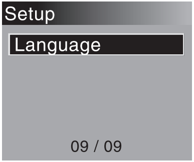
<図10>

電源スイッチを切るには、撮影モード の状態から再度Modeボタン ⏻ <図9-②>を2回押して「Setup（設定）」メニューを表示してください。<図10>
その上で、▼ボタン<図9-③>を押して「Power Off（カメラオフ）」を選択<図2>、シャッターボタン<図9-①>を押すと電源が切れます。

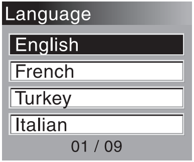
画面日本語表示の選択



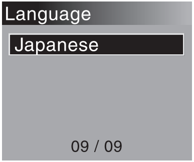
<図11>



<図12>



<図13>



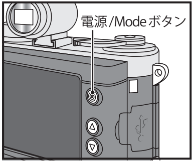
<図14>

撮影モード からModeボタン を2回押して「Setup（設定）」メニューにします。
<図11>

▼ボタンを押して「Language（言語）」を選択しシャッターボタンを押します。
<図12>

「Language」メニューが表示されます。
「English」→「French」→「Turkey」→「Italian」→「German」→「Spanish」→「Chinese(T)」→「Chinese(S)」→「Japanese」の9ヶ国語が表示されます。<図13>
▼ボタンを押して「Japanese」を選択し、シャッターボタンを押して決定します。
<図14>
ディスプレイは日本語に切り替わります。

タイムスタンプ(日時)を入れる



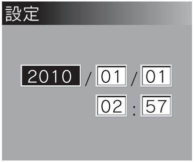
<図15>



<図16>



<図17>



<図18>

日時の設定

カメラに時間を設定しておくことができます。これにより、画像自体に撮影日時を記録することができます。

日時を設定するには、撮影モード📷の状態からモードボタン<図15>を2回押して「設定(Setup)」メニューを表示します。<図16>
▲▼ボタンで「時間設定(Set Time)」を選択し、シャッターボタンで決定します。<図17>

「時間設定」メニューが表示されます。<図18>
まず「西暦」の4桁を設定します。
反転した数値を▲▼ボタンで設定し、シャッターボタンで決定すると次の項目が反転します。この要領で「西暦」、「月」、「日」、「時間」、「分」の順に数値を入力します。
最後にシャッターボタンを押すと日時が設定され、設定メニューに戻ります。

ご注意：設定した時間を保つには、バッテリーを外さず充電状態を維持してください。



<図19>



<図20>

タイムスタンプの設定

「設定(Setup)」メニューから、「カメラ設定(Camera)」を選び、シャッターボタンで決定します。

▼ボタンで「タイムスタンプ(Time Stamp)」を選択し、シャッターボタンで決定します。<図19>

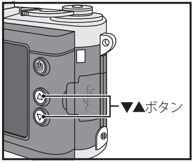
「タイムスタンプ」メニューから▲▼ボタンでオン/オフを選択します。<図20>

シャッターボタンを押すとタイムスタンプが設定され、設定メニューに戻ります。

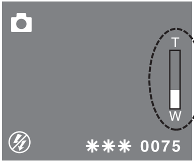
ご注意:タイムスタンプをONにすると、画像自体に年月日が記録されます。

これは後から削除することができませんので、日付けが必要ない場合は必ずOFFにしてください。

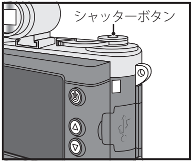
写真を撮る



<図21>



<図22>



<図23>



<図24>

構図を決める

撮影モード （P10「カメラのスイッチを入れる」参照）の状態からカメラ背面のディスプレイで被写体を確かめ、ズーム機能で構図を決めてください。
ズームは▼▲ボタンを使います。<図21>
▲でズームイン、▼でズームアウトし、ディスプレイにズーム状況が表示されます。<図22>

※撮影モード マークが見えない場合は表示されるまでModeボタン を何回か押してください。

撮影する

シャッターボタン<図23>を押して撮影します。しっかりと構えてボタンを押し、「ピッ」と音がすれば撮影が完了したことを示します。ディスプレイ右下の撮影残数カウンタが1つ減ります。<図24>

※シャッター音は非常に小さいものですが、完全に消音したい場合には、"ブザー"をOFFに設定してください。P31「ブザー解除(BuzzerOff)」参照
※充電中は撮影はできません。



<図25>

手ぶれ警告

撮影中に、ディスプレイ左に手のひらのマークが表示される場合があります。
<図25>
この状態のまま手持ちで撮影すると、手ぶれを起こす可能性があります。
これは十分な光量が得られない環境などでシャッタースピードが遅くなり、手ぶれの原因となります。
安定した場所でカメラを固定して撮影することをお薦めします。

フラッシュの使用

カメラにはフラッシュが搭載されていません。（夕暮れ時や暗い場所など）光量の乏しい条件下で撮影するには、MINOX取扱店でオプションでお求めになれるMINOX DCC用 ストロボ（型番60311）が必要です。
オプションのフラッシュの設定方法はP28-29「DCC用ストロボ（オプション）の使用」をご参照ください。

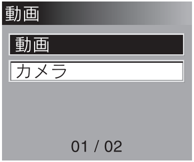
動画を撮る



<図26>



<図27>



<図28>



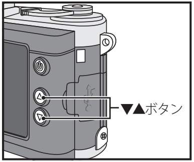
<図29>

動画モードを選択する

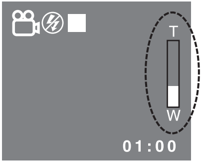
撮影モード からModeボタン を2回押して「設定（Setup）」メニューにします。

「カメラ設定（Camera）」を選択し、シャッターボタンを押します。<図26>
さらに▼ボタンを押して「動画（Movie）」を選び、シャッターボタンを押して「動画（Movie）」メニューを表示させます。
<図27>

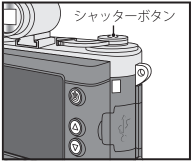
「動画（Movie）」を選択し、シャッターボタンを押します。<図28>
画面は「設定（Setup）」メニューに戻ります。
Modeボタン を再度押すと、録画モードになり、録画モードアイコン がディスプレイ左上に表示されます。<図29>



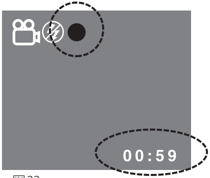
<図30>



<図31>



<図32>



<図33>

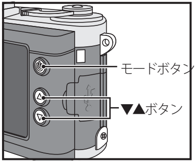
構図を決める

カメラ背面のディスプレイを見ながら構図を決めます。
ズームは▼▲ボタンを使います。<図30>
▲でズームイン、▼でズームアウトし、ディスプレイにズーム状況が表示されます。
<図31>
ズーム機能は、動画の撮影中でも使用する事ができます。

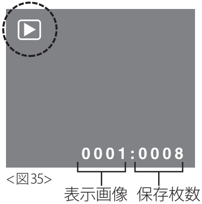
動画を撮影する

シャッターボタンを押すと録画が開始します。シャッターボタンを再度押すと録画が終了します。<図32>
録画中は赤のドット●が画面に点灯します。
画面右下のカウンターは連続して録画可能な残り時間（分：秒）です。<図33>

カメラのディスプレイで画像を見る



<図34>



<図35>



<図36>



<図37>

静止画／動画の再生

撮影モード からModeボタン を1回押して再生モード にします。<図34>
ディスプレイ左上に再生モードアイコン が表示されます。<図35>
画面下に表示されている数字は保存されている画像の枚数と、表示している画像のナンバーです。

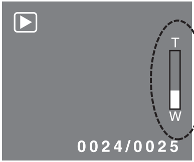
保存されている画像を選択するには▼▲ボタンを使ってください。

動画の場合は再生モード でシャッターボタンを押し、「再生（Playback）」メニューを選ぶと「プレー(Play)」が表示されます。<図36>
シャッターボタンで決定します。
動画が再生され、ディスプレイ左上に動画アイコン と、動画再生アイコン▶が、右下には再生経過時間が表示されます。<図37>

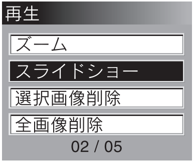
再生を中止する場合はシャッターボタンを押してください。一時停止はできません。



<図38>



<図39>



<図40>

静止画の細部を確認する

ズーム機能を使うと、撮影した静止画の細部を確認することができます。
再生モード▶（「静止画の再生」参照）からシャッターボタンを押して「ズーム（Zoom）」を選び、さらにシャッターボタンを押して決定ます。<図38>
▼▲ボタンを使ってズームすると、ディスプレイにズーム状況が表示されます。<図39>
シャッターボタンを二度押すとズームモードが解除されます。

スライドショー形式で見る

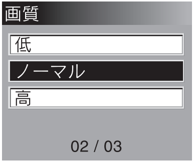
撮影した画像を自動的に表示するように設定することができます。

再生モード▶からシャッターボタンを押して「再生（Playback）」メニューにします。「スライドショー（Slide Show）」を選択し、シャッターボタンを押してください。<図40>
スライドショーがスタートします。シャッターボタンを再び押すとスライドショーが終了します。

更に多くの画像を保存する



<図41>



<図42>



<図43>

画像のサイズを変更する

画像サイズを変更することでより多くの画像を保存することができます。
撮影モード📷からModeボタン⏻を2回押して「設定（Setup）」メニューにします。
▼▲ボタンで「カメラ設定（Camera）」を選択し、シャッターボタンを押します。「画質（Quality）」を選び、シャッターボタンで、「画質（Quality）」メニューにします。<図41>
▼▲ボタンで「低（Low）」「ノーマル（Normal）」「高（High）」の３段階の画質設定から設定を選ぶことができます。<図42>

画面下に＊マーク（Low：＊／Normal：＊＊／High：＊＊＊）が表示されます。<図43>

- ●Low (*)：2608 x 1956 pixel（約144画像）
- ●Normal (**) 2048 x 1536 pixel（約110画像）
- ●High (***) 2608 x 1956 pixel（約73画像）

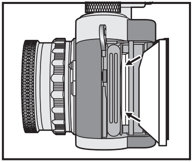
※ピクセル数はすべて同じですが、圧縮率の違いにより保存枚数は異なります。
※（）内は内蔵メモリ使用時の保存枚数の目安です。実際の撮影では被写体などにより多少異なる場合があります。

シャッターボタンを再度押して選択します。

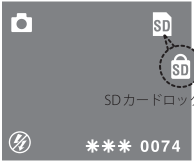
SD カードでメモリ容量を拡大する

SD（セキュアーデジタル）カードでメモリ容量を増やし、更に多くの静止画や動画の撮影を可能にすることができます。
SDカードはカメラ店や電気製品販売店でお求めになれます。
本機は16GBまでのSD（SDHC）カードを使用することができます。

重要事項：
※SDカード挿入時は、内蔵メモリは使用、再生、フォーマットはできません。（保存先や再生データを選択することはできません）
内蔵メモリを使用する際は、SDカードを取出してご使用ください。



<図44>



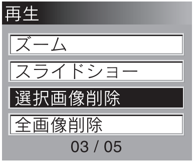
<図45>

SD カードを入れる

バッテリーカバーを開くと、SDカードを入れるスロットが見えます。SDカードを正しい方向（SDカードの接点が液晶側）に入れてください。<図44>
SDカードが挿入されると、ディスプレイ右上にSDアイコンが表示されます。<図44>

重要事項：
SDカードがロック（保護）されているとカードロックアイコンが画面に表示され、この場合には撮影できません。<図45>

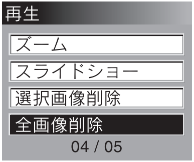
不要な画像を削除する



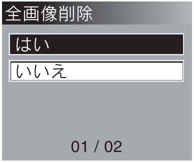
<図46>



<図47>



<図48>



<図49>

画像を 1 つずつ削除する

再生モード▶の状態から▼▲ボタンで削除する画像を選びます。

シャッターボタンで「再生（Playback）」メニューを表示させ、▼▲ボタンで「選択画像削除（Delete One）」を選び、シャッターボタンを押します。<図46>

▼▲ボタンで「はい（Yes）」を選択し、シャッターボタンを押すと、選択した画像はカメラ（SDカード）のメモリから消去されます。<図47>

全画像を消去する

再生モード▶の状態からシャッターボタンを押して「再生（Playback）」メニューを選び、▼▲ボタンで「全画像削除（Delete All）」を選び、シャッターボタンを押します。<図48>

▼▲ボタンで「はい（Yes）」を選択し、シャッターボタンを押すと、カメラ（SDカード）のメモリ内に収容されている全画像が消去されます。<図49>

画像をコンピュータにダウンロードする

Windows ME/2000/XP/Vistaの場合、ドライバをインストールする必要はありません。
この他のOSの場合は、SDカードを使用してカードリーダーから読み込んでください。

カメラをコンピュータに接続する

カメラをコンピュータに接続するときは、カメラの**電源を入れて**おきます。
その上で付属のUSBケーブルを使ってコンピュータに接続します。(小さいコネクタをカメラ側、大きいコネクタをコンピュータ側に接続します)
初めてカメラをコンピュータに接続すると、コンピュータがカメラを新しいハードウエアとして認識し、ドライバーを自動的にインストールします。
コンピュータからインストール完了の通知を確認した後にカメラまたはSDカードに収容されている画像にアクセスしてください。

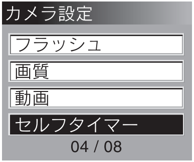
【注意】
※電源を切った状態でカメラをコンピュータに接続すると、USBケーブルを経由してコンピュータから電源が供給されてカメラのバッテリー電力を補います。
※USBケーブル装着時はコネクタ部をしっかり差込んでください。

画像をダウンロードする

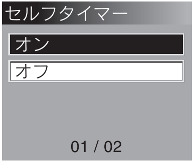
コンピュータの「マイコンピュータ」を開くと、「リムーバブルディスク」のアイコンが表示されます。アイコンを開き、最初に「DCIM」のフォルダを、次に「100_CAM」を選択すると、全画像がコンピュータに表示されます。

※他の情報の保存や転送にカメラを使用することもできます。上記の通りフォルダを開き、保存したいファイルをコピーすれば、カメラのメモリに保存されます。

セルフタイマーを使用する



<図50>



<図51>



<図52>

セルフタイマーを使うと撮影者自身の撮影も可能です。セルフタイマーは10秒後にシャッターが切れます。この設定は解除するか一度電源を落とさない限り機能します。

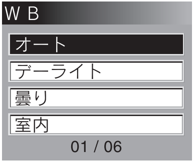
撮影モードからModeボタンを2回押して「設定（Setup）」メニューにします。
▼▲ボタンで「カメラ設定（camera）」を選び、シャッターボタンを押すとカメラ設定メニューになります。▼▲ボタンで「セルフタイマー（Self Timer）」を選び、もう一度シャッターボタンを押し決定します。<図50>

セルフタイマー画面が現れ、▼▲ボタンでセルフタイマー機能のオン／オフ（On/Off）が選択できます。<図51>
シャッターボタンを押して決定します。
オン（On）にするとカメラはタイマーモードになり、画面にセルフタイマーアイコンが表示されます。<図52>
構図を決めてシャッターボタンを押すと、自動的に10秒後にシャッターが切れます。タイマー作動中は音でカウントダウンを示し、ファインダー横の窓が赤く点滅します。

ホワイトバランス(WB)の調整



<図53>



<図54>



<図55>

	自動(Auto)
	デーライト(Daylight)
	曇り(Cloudy)
	室内(Lamp)
	タングステン(Tungsten)
	夜(Night)

<図56>

ホワイトバランスを調整すると、極めて明るい、または暗い条件下でも自然な写真を撮ることができます。

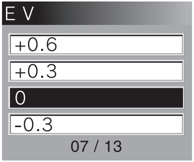
撮影モード からModeボタン を2回押して「設定(Setup)」画面にします。
▼▲ボタンで「カメラ設定(camera)」を選び、シャッターボタンを押すとカメラ設定メニューになります。
▼▲ボタンで「WB」を選び、シャッターボタンで決定します。<図53>

「WB」メニューが表示され、▼▲ボタンを使って次の6種類から選択することができます。<図54>
上記より選択したら、再度シャッターボタンを押して決定します。
撮影モードにすると選択したWBアイコンが画面左上に表示されます。<図55>
WBアイコンは<図56>のとおりです。

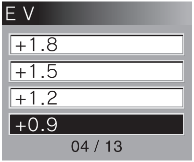
露出値（EV）調整



<図57>



<図58>



<図59>

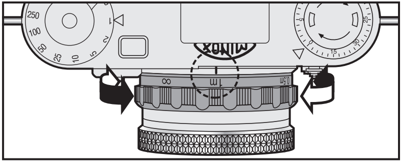


<図60>

このカメラは通常は自動的に適正な露出値を選択しますが、マニュアル調整が望ましい場合があります。暗い被写体が全体画像の大きな部分を占める場合にはEV値をゼロから上げ（+）、明るい被写体が大きな部分を占める場合にはEV値を下げます（−）。

撮影モード からModeボタン を2回押して「設定（Setup）」メニューにします。
▼▲ボタンで「カメラ設定（Camera）」を選択し、シャッターボタンを押して「カメラ設定（Camera）」メニューにします。
▼▲ボタンで「EV」を選び、シャッターボタンで決定します。<図57>
「EV」設定メニューになるので▲▼ボタンで必要な調整EV値を選んでください。<図58>
調整値は±0.3EV刻みで±1.8まで設定することができます。<図59>
選んだら、再度シャッターボタンを押して決定します。
撮影モードに戻ると、撮影モードアイコンの下に設定したEV値が表示されます。<図60>

距離設定



<図61>

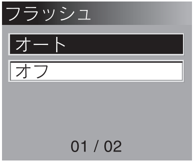
カメラに搭載されているレンズは被写体までの撮影距離を選択できるようになっています。
レンズの小さなレバーで希望の撮影距離を選んでください。<図61>

∞（無限遠）：1.5mから無限遠まで
1m：0.7mから1.5mまで
0.5m：0.5mから0.7mまで

MINOX DCC 用ストロボ（オプション）の使用



<図62>



<図63>



<図64>

このカメラには内蔵フラッシュが搭載されていません。夕暮れ時や、暗い場所での撮影には、別売オプションのMINOX DCC用 ストロボ（型番60311）が必要になります。

電源を切った状態でカメラにフラッシュを取り付けます。（フラッシュの取付け方法の詳細はフラッシュの取扱説明書をご覧ください）
しっかりと取付けられていることを確認してからフラッシュの電源を入れてください。

※フラッシュには必ず適切なバッテリーを使用してください。

カメラの電源を入れます。
撮影モード からModeボタン を2回押して「設定（Setup）」メニューにします。
▼▲ボタンで「カメラ設定（Camera）」を選択し、シャッターボタンを押して「カメラ設定（Camera）」メニューにします。
▼▲ボタンで「フラッシュ（Flash）」を選び、シャッターボタンで決定します。<図62>

「フラッシュ（Flash）」メニューが表示されるので、▲▼ボタンで「オート（Auto）」または「オフ（Off）」を選択できます。<図63>
「オート（Auto）」を選んでシャッターボタンを押して選択します。
Modeボタン⏻を押すと撮影モード📷になり、ϟAマークが画面に表示されます。
<図64>

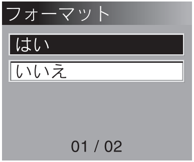
後は通常通り撮影してください。

【ご注意】
カメラが自動フラッシュモードになっている場合、カメラの電源を切るまでそのモードが継続します。
電源が切れるとオフモードとなるので、再度設定する必要があります。また、自動フラッシュモードでカメラが周囲が明るいと判断した場合には、フラッシュは発光しません。

カメラのメモリの初期化



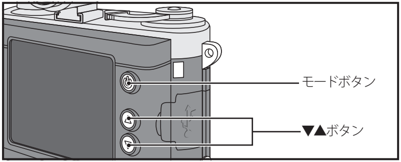
<図65>



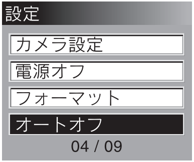
<図66>

カメラのメモリを初期化して（全画像を消去）メモリ容量を確保することができます。
「設定（setup）」画面から「フォーマット（Format）」を選び、シャッターボタンを押します。<図65>
「フォーマット」画面の「はい（Yes）」を選びシャッターボタンで決定すると全画像と設定が全て消去されます。<図66>
【ご注意】
SDカード挿入時は本体メモリのフォーマットはできません。

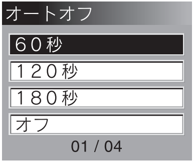
カメラの設定を変更する



<図67>



<図68>



<図69>

設定メニューを開く

カメラの設定を変更する際は、撮影モード 📷 からModeボタン ⏻ を2回押して「設定(Setup)」画面にします。

▼▲ボタンで以下の何れかの設定を選択します。<図67>

オートオフ(AutoOff)時間の設定

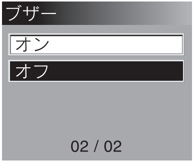
オートオフ機能の設定時間を変更、または解除することができます。

「設定(Setup)」メニューから「オートオフ(AutoOff)」を選びシャッターボタンを押します。<図68>

希望時間を60秒、120秒、180秒、またはオフ(オートオフ解除)から選択し、シャッターボタンを押して決定します。<図69>



<図70>



<図71>

ブザー解除 (BuzzerOff) の設定

初期設定では操作ボタンを押すと音が鳴るように設定されていますが、これは解除することができます。

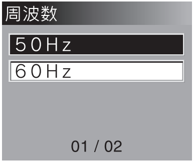
「設定 (Setup)」ニューから「ブザー (Buzzer)」を選び、シャッターボタンを押します。<図70>

「オン (On)」「オフ (Off)」いずれかを選択してシャッターボタンで決定します。<図71>

※操作音は非常に小さなものです。



<図72>



<図73>

周波数 (Frequency) の設定

国や地域により異なる周波数の設定ができます。

「設 定 (Setup)」 メ ニ ューから、「周 波 数 (Frequency)」を選び、シャッターボタンを押してください。<図72>

「50Hz」か「60Hz」のいずれかを選び、シャッターボタンを押して決定します。<図73>

カメラの設定を変更する



<図74>



<図75>



<図76>



<図77>

言語（Language）の変更

画面上の言語を変えることができます。

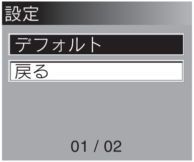
「設定（setup）」メニューから、▼▲ボタンで「言語（Language）」を選び、シャッターボタンを押して決定します。
<図74>

「英語（English）」、「フランス語（French）」、「トルコ語（Turkey）」、「イタリア語（Italian）」、「ドイツ語（German）」、「スペイン語（Spanish）」、「中　国　語(2)（Chinese T/S）」、「日　本　語（Japanese）」、の9カ国語の中から選択することができます。<図75／図76／図77>

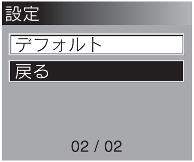
ご希望の言語を選んでシャッターボタンを押して決定します。



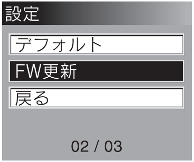
<図78>



<図79>



<図80>



<図81>

設定（Settings）

→初期設定に戻す/デフォルト(Default)

カメラの設定を初期設定に戻したい場合には、「設定（setup）」メニューから「設定（Settings）」を選び、シャッターボタンを押します。<図78>
次に「デフォルト（Default）」を選択してシャッターボタンを押すと初期設定に戻ります。<図79>

→前画面に戻る/終了(Exit)

「設定（Settings）」画面の「終了（Exit）」を選択すると前画面に戻ります。<図80>

→SDカード挿入時の表示

SDカード挿入時に「設定（setup）」メニューから「設定（Settings）」を選ぶと、「デフォルト（Default）」と「終了(Exit)」の間に「FW更新(FW Upgrade)」が現れます。<図81>
これは機能設定に使用しない項目です。

仕様

有効画素数	510万画素
撮像素子	5.1メガ CMOSセンサー
記録画素数	スチル：2608 x 1956 ピクセル ビデオ：320 x 240 ピクセル
内蔵メモリ	128MB フラッシュメモリ
記録メディア	SDカード（16GBまで対応）
撮影可能枚数 （内蔵メモリ使用時）	高画質:約73枚 標準画質:約110枚 低画質:約144枚 ビデオ：1クリップ60秒
ビューファインダー	ガリレオタイプ光学ファインダー
液晶ディスプレイ	2インチTFTカラーモニター
フラッシュ	DCC用ストロボ(別売)
レンズ	Minoctar デジタルレンズ4枚構成IRフィルタ付ガラスレンズ

焦点距離	9mm（35mm換算42mm相当）
絞り値	F2.0
デジタルズーム	4倍
焦点深度範囲	0.5m, 1m, ∞
ホワイトバランス	オート、デイライト、曇り、室内、タングステン、夜
シャッタースピード	自動
セルフタイマー	10秒
電源	充電式リチウムイオンバッテリー
自動電源off	60秒/120秒/180秒、またはOFFモード選択可
ファイル形式	スチル：JPEG ビデオ：AVI
パソコン接続	USBケーブル
システム環境	Windows ME/2000/XP/Vista
サイズ／重量	W82 × D46 × H67mm ／約120g（ファインダー、バッテリー含む）

MINOX 日本総代理店

KOMAMURA CORPORATION

株式会社駒村商会
〒 103-0013
東京都中央区日本橋人形町 3-2-4 駒村ビル
TEL.03-3639-3351 FAX.03-3808-0115

www.komamura.co.jp

製品の修理・お問い合わせは…

お買い上げいただいた製品の点検や、故障の際の修理につきましては、お買い上げの販売店、または下記までお問い合わせください。

TEL.03-3639-3351

●この取扱説明書は2010年8月現在のものです。
●この取扱説明書に記載の製品に関する外観・仕様などは予告無しに変更する場合があります。